

燃料価格高騰経営危機突破全国総決起大会 決議

私たちトラック運送事業者は、わが国の国民生活、産業活動を支えるライフラインとして、その重要な使命を果たすべく日夜懸命に努力しているところである。

しかしながら、昨年末以来のアベノミクスによる円安の影響により、軽油価格の高騰はもはや非常事態といえる状況であり、平成二十一年三月と比較して、業界全体で年間約六八〇〇億円ものコスト増を強いられている。とくに長距離輸送を行っているトラック運送事業者においては、燃料コストは運送経費の実に4割を占めており、影響はより甚大である。軽油価格の異常な高騰は、経営収支や労働条件の一層の悪化を招き、今や多くの事業者がまさに廃業の危機に直面し、悲痛な声をあげている。

このような状況に際し、国は実現可能なあらゆる緊急対策を早急に実施し、公共的物流サービスを担う私たちトラック運送事業者の救済を図らなければならない。

については、トラック運送事業者の危機突破に向け、以下の対策の断固実現を期し、総意をもって以下のとおり決議する。

- 一 燃料費を補填する補助金の創設
- 一 燃料サーチャージ導入の促進
- 一 燃料価格監視の徹底
- 一 軽油引取税緊急減税の実現

右、決議する。

平成二十五年五月二十三日

公益社団法人 全日本トラック協会
都道府県トラック協会